

# 明治の書籍、定番タイトルあれこれ

田 満 字 二 郎

書籍編集者にとって最も悩ましい仕事の一つは、タイトルの決定だろう。芸術的な書物ならともかく、教養書や実用書の場合だと、タイトルはその書物の内容の基礎となる部分を読者に適確に伝える必要がある。それでいて、なおかつオリジナルな魅力に富んだものを考え出さなくてはならないのだ。そんな奇跡のようなことがいつも可能であるはずはないから、結局は、時間切れに伴って安定したものに走りがちだ。世の中に似たようなタイトルの本があふれているのも、むべなるかな。考える方の努力不足だと言われれば返すことばもないが、編集者だつてそれに気が付いていないわけではないのである。

タイトルに関するマンネリは、近代出版の黎明期から続いているようだ。明治二〇年ごろまでの書物を見てみると、たとえば、「訓蒙」という語をタイトルに冠したものが目立つ。かの福沢諭吉が、今で言う物理学を平易に解説した『訓蒙窮理図解』が代表だが、ほかにも『化学訓蒙』『数学訓蒙』『万国地理訓蒙』などなど、さまざまな学問分野に「訓蒙本」が

ある。

「訓」とは、「教訓」の「訓」で、教えること。ちなみに、現在では「くん」と読むのが一般的だが、昔は「きん」と読まれることも多かった。「蒙」は、草冠が付いているように、草に覆われた暗いイメージを持つ漢字で、無知であるという意味がある。

つまり、「訓蒙」とは、無知な者たちに教えてやるよという上から目線のことばであつて、現在の感覚では書籍のタイトルには不向きだ。しかし、当時はむしろ、えらい先生がわかりやすく教えてくださるという積極的な受け止められ方をされたのだろう。

事実、「訓蒙」をタイトルに含む書物は江戸の昔からあつて、明治の出版界と江戸の出版界は地続きであることを感じさせる。ただ、明治も後半に入ると、「訓蒙本」の出版点数は急激に減っていく。現在では、「訓蒙」といつても、おそらくほとんどの読者には意味が伝わらないだろう。

「通俗」も、似たようなことばだ。現在では一般庶民に迎

合した」というマイナスのイメージで使われがちだが、昔は一般庶民でも理解できる」というプラスの意味合いが強かった。江戸中期に出版された『通俗三国志』は、近世中国語で書かれたいわゆる『三国志演義』を、日本人にも読みやすい文章で翻案したもの。『通俗西遊記』『通俗漢楚軍談』といった書物もある。明治に入っても、これまた福沢諭吉の『通俗民権論』『通俗外交論』などをはじめ、『通俗商業簿記』だとか『通俗刑法総論』などなど、さまざまな分野で「通俗本」が出版されている。

『通俗防諜読本』という書物は、一九四〇（昭和一五）年の出版。「通俗本」の流れは昭和戦前期まで続いていたのだ。そのころにはもちろん「通俗文学」のような軽蔑的なニュアンスを含む言い方もあるのだが、「通俗」をそういうマイナス・イメージで使うのが主流となったのは、案外、新しいことなのかもしれない。

編集者は、現実との妥協の結果も含めて、いろいろと悩んだ末に書籍のタイトルを決める。とすれば、そこに時代によることばの変化や、ある時代にあることばがまもっていた雰囲気や反映しているのは、当然のことだろう。明治時代に書籍のタイトルの定番だったことばを探してみるのには、そういう意味で、なかなかおもしろい。ほくが知っている範囲でもう少し例を挙げるならば、たとえば「捷徑」がある。

「捷」は、「敏捷」の「捷」で、すばやいこと。「徑」は、「直徑」の「徑」で、曲線部分をショートカットする近道

を指す。つまり、「捷徑」とは、すばやく目的地にたどりつける近道のこと。『作文捷徑』ならば手っ取り早い作文上達法が、「囲碁捷徑」ならばすぐにでも囲碁が強くなる秘訣が、書いてあるのだろう。

手っ取り早いハウツー本が求められるのは、いつの時代も変わらない。「捷徑」も、江戸時代の書籍のタイトルにも例がある。ただ、よく使われたのは明治の半ばごろで、大正に入ると、「捷徑本」はだんだんと姿を消していくようだ。

このほか、ちよつと変わったものとしては、「須知」がある。現代ではまず見かけない漢字の並びだが、「必須の知識」と言い換えれば、わかりやすいだろう。現代ならばざり「基礎知識」であって、『育児須知』とか『養蚕須知』だとかといった書物が、少なからず出版されている。

「須知本」の流れは、これまた江戸時代から始まって、「訓蒙」や「通俗」ほど例は多くないものの、昭和の戦前期まで見ることが出来る。ただ、ちよつとおもしろいのは、昭和戦前期の例としては、『砲兵須知』『航空兵須知』などと軍隊での基礎知識を記した書物が目立つことだ。

先の『通俗防諜読本』と合わせて考えると、軍隊の独特な保守性が、ひよんなことから江戸以来の出版文化の伝統を保存したのだ、といえるのかもしれない。

(えんまんじ・じろう フリーライター・漢和辞典編集者)